

北九州市にボート型せっけん

シャボン玉石けん レースなどPR

北九州市若松区のシャボン玉石けんは3月31日、自社の近くにあるボートレース若松と自社をPRするために作った「ボート型無添加せっけん」を北九州市に

寄贈した。同社は3年前のボートレースで、ファンサービス用に普通の大きさのボート型せっけんを7万個作って配った。好評だったため、観賞用の大きなサイズも作ることにしたという。

西日本工業大学の協力を得て、22個分のせっけんのかたまりから、幅30センチ、奥行き12・5センチ、高さ15センチのボート型せっけんを、3Dカッターで削り出した。



森田隼人社長(右)からボート型せっけんを受け取る北橋健治市長(北九州市役所)

ボートレース若松のイメージキャラクターかっぱくんがボートに乗ったせっけんを、森田隼人社長から手渡された北橋健治市長は思

わず「かわいい」と笑顔に。「人と環境に優しいものづくりをされている。(環境を重視する)北九州市の取り組みと相通じる」と話した。

寄贈された3個のうち一つは4月中にボートレース若松で展示される予定。

(井石栄司)